

ごあいさつ

早春の候、皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は私、竹田たかしの政治活動に対しまして温かいご支援とご協力を賜り誠にありがとうございます。

皆様のご支援により市議会議員として送って頂いた2期目も早いもので最終年度を迎えようとしています。この間、たくさんの激励、応援を賜り又、厳しくも有り難いご意見ご指導を頂きました事、心から感謝申し上げます。平成26年度の一般会計、特別会計及び企業会計等の予算を審議する3月定例会が終了致しました。日々、色々な声を頂いている中、2月26日には70項目の代表質問を行いました。これからも弛みのない行財政改革と魅力のあるまちづくりを進め、初心忘れる事なく汗をかき、知恵を出し、皆様のご意見を八尾市政へ力強く反映出来る様、頑張っております。

皆様方には引き続き、ご指導、ご鞭撻の程、重ねてお願い申し上げます。



八尾市議会議員 竹田 たかし

◆八尾市の財政状況◆

平成26年度の市全体の予算規模については2,029億4,966万7千円で、前年度当初予算額との比較では、58億7,787万8千円増、率で3.0%の増となっています。一般会計では総額1,030億2,002万8千円で前年度当初予算額との比較で15億6,525万9千円、率で1.5%の減となり、第2期行財政改革アクションプログラムを進めることなどにより財源捻出を図りながら、重点取組みをはじめとする各種の行政サービスを予算化。歳入面では、市税においては個人市民税および法人市民税を対前年度増で見込むなど、全体として増収で見込み、地方交付税は国の予算が減額されたことに伴い減収と見込んだ。

歳出面では、学校園施設耐震化事業など投資的経費、国民健康保険事業などへの繰出金が増となるものの、扶助費が生活保護費の鈍化に伴い減少し、予算規模は小さくなっています。特別会計では、国民健康保険事業では保険給付金などで増、公共下水道事業では管渠築造費などで増、介護保険事業では保険給付金などで増、後期高齢者医療事業では広域連合への給付金などで増、土地取得事業では土地取得費などで増となり、いずれも前年度当初予算額との比較では増となっています。

企業会計では、病院事業では医業費用、建設改良費などで増、水道事業では営業費用で減となるものの建設改良費の増などで増となり、いずれも前年度当初予算額との比較では増となっています。

～平成26年度 一般会計、特別会計及び企業会計の状況～				
	(単位：千円・%)			
	平成26年度 A	平成25年度 B	対前年度 増減額(A-B)	増減率
一般会計	103,020,028	104,585,287	▲1,565,259	▲1.5
特別会計	77,165,217	71,932,207	5,233,010	7.3
国民健康保険事業特別会計	35,061,011	33,952,643	1,108,368	3.3
公共下水道事業特別会計	14,140,202	13,472,172	668,030	5.0
財産区特別会計	3,284	3,283	1	0.0
介護保険事業特別会計	20,960,766	18,538,546	2,422,220	13.1
後期高齢者医療事業特別会計	5,594,954	5,341,863	253,091	4.7
土地取得事業特別会計	1,405,000	623,700	781,300	125.3
企業会計	22,764,422	20,554,295	2,210,127	10.8
病院事業会計	13,940,555	12,409,742	1,530,813	12.3
水道事業会計	8,823,867	8,144,553	679,314	8.3
全体合計	202,949,667	197,071,789	5,877,878	3.0

～平成26年度の重点取り組み～		(内容)	事業費 (単位：百万円)	
①誰もが安全で安心して住み続けられる八尾	地域安全マップ推進事業/災害時要配慮者支援事業/地域健康づくり支援事業 災害時情報伝達体制強化推進事業/(仮)生活困窮者自立促進支援事業 等	17件	675	
②子どもや若い世代の未来が広がる八尾	八尾子ども計画策定事業/(仮)子どもセンター基本構想策定事業/親子de絵本 待機児童解消加速化プラン推進事業/「土曜スクール」(地域に開かれた学校づくり)事業 等	17件	6953	
③まちの魅力を高め、発信する八尾	芸能文化振興事業/観光活動支援育成事業 高安千塚古墳群保存活用事業/図書館整備事業 等	6件	169	
④職住近在のにぎわいのある八尾	道路橋りょう新設改良事業/交通安全施設整備事業 玉串川等の桜再生事業 等	8件	726	
⑤環境を意識した暮らしやすい八尾	路上喫煙対策事業 一般廃棄物の処理に係る広域連携事業	2件	865	
⑥みんなでつくる八尾	旅券発給事務/公共施設マネジメント事業/地域拠点移行事業 市立コミュニティセンター機能更新事業/戸籍、住民票、届出証明業務 等	9件	1,359	
合計			59件	10,747

消防本部 高機能指令システム導入

通報受付から出動指令を行う『指令台』で最大8件の事案を扱う事が出来、位置情報通知システムでは一般電話や携帯電話の発信地データを瞬時に検索し指令台に表示し災害地点を確定されます。

消防車や救急車に『出動車両運用管理装置』が搭載され出動指令が自動的に表示され現場へのルート案内も行います。



信号機の設置

待機場所がないため30年来の懸案だった通学路に信号機の設置が完了し3月4日に点灯式、渡り始めを行いました。

自転車通行の法律が見直される中、事故が増加しており少しでも事故が無くなっていくように取組みを進めてまいります。

新八尾図書館完成！ 4月30日開館

本町2で建設が行われていた市立図書館が完成しました。貸出資料等も充実し1階には児童書約2万5000点に加えAV資料約4000点、2階には一般図書約5万8000点が開架され、又青少年センター、学習室も整備され、さらに八尾市在住だった直木賞作家、今東光氏の文学作品を集めた資料館が新たに設置されました。

市立図書館の利用時間

午前10時～午後5時まで
水曜日、木曜日、金曜日及び土曜日は
午前10時～午後7時まで
ただし、国民の休日の場合は午後5時まで



新八尾図書館の完成を機に関西初となる読書通帳を導入しました。

平成26年3月定例会 会派代表質問

もっと詳しい定例会の内容を八尾市HPで映像配信しています。

八尾市議会映像配信<アドレス <http://www.kensakusystem.jp/yao-vod/index.html>>

◆市長の政治姿勢について◆

質問 地域分権のしっかりとした目的を明らかにするよう求め「行政の役割」と「地域の役割」の具体化について問いただしてきたが明らかになっておらず「地域分権」で市民の暮らしはどう変わり、人口減少社会にどう立ち向かうのか具体的な手立てや戦略を明らかにせず終わらなき目的にしている印象がある。市長が就任してから7年間の市政運営の総括と残りの任期でいかなる課題に政治手腕を発揮するのか。

回答 元気なまちを次世代に引継ぐために行財政改革を進めながら未来を担う子どもたちの健やかな育ちを支え、まちの魅力を高める取り組みを進めてきたが、まだまだ手がける事が多く残っている。又残る任期の中で庁内一丸となり「元気をつなぐまち新しい河内の八尾」づくりへと更に前に進めていきます。

◆地域と向き合う施策展開について◆

質問 平成26年度もまちづくり交付金を行うため約6500万円の予算を計上していますが、昨年度のまちづくり交付金に対する評価をどのようにしておられるのか。又地域の各種団体に交付する補助金とまちづくり交付金の関係の整理は行われているのか。

回答 各校区まちづくり協議会において防災訓練や防犯パトロールの充実をはじめ高齢者から子どもたちまで多くの地域住民が楽しみながら交流できる行事など市民の皆様による地域のニーズに応じた活動が出来たものと評価。校区まちづくり交付金を活用した各地域における取り組みや、活動実績、地域の声を聞きながら既続の補助金制度との関係を含め制度を改良、発展していきたい。

◆広域行政について◆

質問 平成26年10月よりパスポート発給業務を本市でも行うが広域行政の点から柏原・羽曳野・藤井寺市と共同で進める検討はされたのか。

回答 八尾市民のパスポートセンターでの利用状況は発給申請者は年間8400人であり約5700人が阿倍野分室を利用しており同数以上の方が本市の窓口を利用されると見込んでいる。今後、広域的な連携により更なる市民サービスの向上を図る事が出来ないか検討していきます。



◆財政について◆

質問 平成26年度の八尾市の財政は市税等で増が見込まれるが基金を21億円切り崩し、臨財債等の借金で収支が均衡する厳しい内容となっているが市長の予算に対する見解について伺いたい。

回答 予算の編成にあたって施策の選択と集中により限られた財源を効率的、効果的に活用し、又行財政改革にも取り組みながら地域分権をさらに進め、未来の八尾創りにつながる事業をしっかりとやり遂げるための予算とします。

◆出張所について◆

質問 出張所での公金収納業務が4月より廃止されるが、公金収納に当たっていた職員を具体的にどのような業務に従事させるのか。又、今後出張所をどのように体制整備していくのか。

回答 地域のまちづくり支援、健康コミュニティづくりの各種取り組みや出張所を拠点としたネットワークづくりなど、出張所・コミュニティセンターにおける様々な事業にも従事していく。出張所については地域拠点のあり方に対する提言をふまえ最終的な方針をまとめ適切に対応していきます。

◆人口減少対策について◆

質問 我が国の人口は減少期にあり本市においても32年度の人口は24万4000人程度になると予想されており、定住促進や労働人口の増加策など積極的な対策が必要であるが八尾市の人口減少についての分析と具体策としてどのような取り組みを考えているのか。

回答 子どもを安心して産み育てることのできる環境の整備や八尾の魅力創造・発信等に取り組むことで「八尾にいつまでも住み続けたい」「八尾に住んでみたい」と思うことの出来る街づくりを進めます。



◆防災について◆

質問 「南海トラフ巨大地震発生時の八尾市の被害想定」が発表され、本市の罹災者は約10万人と想定されております。この間本市の防災の取り組みの成果と現在の課題、又26年度の具体的な取り組みとこれまで求めてきた市役所が機能不全になった場合の業務継続計画策定の状況について伺いたい。

回答 災害時の避難施設となる学校園施設の耐震化を平成27年度までに完了していきます。又、防災備蓄物資の拡充や耐震性貯水槽の整備を進める防災政策については減災に向けた体制づくりが課題であり、業務継続計画は資源に制約があることから必要性は十分認識しています。

質問 八尾市では危機管理は総務部、防災は人権文化ふれあい部と市民にとって窓口が分かりにくく、連絡調整に課題がある。自然災害や事件、事故などあらゆる危機に対応する「防災・危機管理センター」の設置を提案するが現在の組織の課題とあわせて伺いたい。

回答 危機管理事象が続出するなか、総合調整機能等の充実が課題と認識しており平成26年度機構改革において組織体制の充実を図ります。

◆防犯について◆

質問 平成25年中の八尾市の街頭犯罪は2245件、依然として府下トップクラスであり、子どもや女性に対する犯罪が増加している。犯罪抑止として防犯カメラの設置補助を進めているが、昨年度、今年度の公共施設への設置件数は何台なのか。

回答 平成24年度の設置件数は17施設に32台、平成25年度は40施設に129台設置を見込んでいます。



お知らせ 第6回後援会日帰り旅行を開催します!

昨年に続き、「後援会日帰りバス旅行」を開催させていただきます。今年度は5月25日(日)に白浜方面へ企画いたしました。詳細は案内チラシや「竹田たかしホームページ」(takedatakashi.jp/)で

お知らせさせていただきます。皆様のご参加をお待ち申し上げます。 [竹田たかしホームページ](#)